



令和5年度学校だより 甲府市立南西中学校

銀杏 (いちょう) 第12号 令和6年2月19日(月)発行

●教育指標 「日に 新たに」 ●学校教育目標 「たくましい心と体を持ち 豊かに学び合う生徒の育成」

文責：校長 井上 有史

1. 2年生授業参観

2月2日(金)に、本年度3回目となる授業参観を1,2年生を対象に実施しました。昨年度までは、感染症対策のため、いくつかの制限をしながらの実施でしたが、本年度は特に制限もなかったためか、とても多くの保護者の皆様にご参加いただくことができました。授業は、教室や特別教室で行われましたが、ICT(クロームブック)の活用が日常化してきているため、保護者の皆様が受けられた中学校時代の授業とは大きく様変わりしてきていることを実感されたのではないのでしょうか。各教室を廻らせていただきましたが、どの教室も和やかな雰囲気の中授業が進められていました。

授業終了後は、学年PTA総会が開かれ、各学年とも本年度の成果と課題が伝えられるとともに、来年度への見通しについて情報提供等がなされました。ご家庭でも、本日の授業参観や学年総会での様子を話題にさせていただき、それぞれの生徒が、それぞれの目標に向かって努力できるよう、学校とご家庭とで連携を図りながら進めていければと思っています。よろしくお祈りいたします。



能登半島地震への救援活動

1月1日に発生した能登半島地震に対する募金活動が、福祉委員会を中心に実施されました。多くの生徒に協力していただき、計70,872円の義援金が集まりました。また、PTAにも呼びかけさせていただき、こちらの方でも43,088円の義援金を集めることができました。計113,960円の浄財は、今後甲府市児童生徒連絡協議会、日本赤十字社を通して被災地に送られることとなっています。被災された方々の、一刻も早い復興を心よりお祈りいたします。ご協力ありがとうございました。



新入生保護者説明会



2月8日(木)に新入生保護者説明会を実施しました。来年度につきましては、現時点で62名の新入生を予定していますが、ほとんどの保護者の方にご参加いただき、物品の購入や学校からの説明をお聞きいただきました。中学入学にあたっては、様々な不安や心配事がありかと思えます。もし、何か疑問点等ございましたら、何時でも学校へお問い合わせいただければと思います。保護者説明会からちょうど2ヶ月後の4月8日が入学式当日となります。元気な新入生をお迎えできることを、職員一同楽しみにしています。

あいさつ運動 ご協力ありがとうございました

2月8日(木)、9日(金)と、本年度3回目となる朝の声かけ、あいさつ運動を実施しました。本来ならば4日間の実施を予定していましたが、降雪のため2日間に短縮しての実施とさせていただきます。とても寒い朝の時間帯でしたが、地域の方やPTAの方ご協力をいただく中で、爽やかな朝の時間を過ごすことができました。子どもたちも、照れながらも元気にあいさつを交わしていました。ご協力ありがとうございました。



「学校生活のきまり」見直しについて

学校には様々なきまりがあり、それらをしっかりと守って生活することの大切さを身に付けることは、学校教育の一つの大きな使命だと言われています。法令遵守の精神は、生徒達が社会に出てからもとても大切な資質となります。一方で、きまりやルールについては、社会や時代の変化に伴い常に見直しが必要であり、その都度状況に応じて改正されていくことが必要です。

本校の「学校生活のきまり」につきましても、今までその時々に見直しを行い改善されてきた経緯があります。しかしながら、年度当初現行のきまりを改めて見たところ、時代にそぐわない内容や必要性に疑問が残る内容がいくつか目につきました。そこで、本年度は、きまりについて抜本的な見直し作業を進めることとしました。見直しのポイントは、「生徒の皆さんにとって分かりやすく、全ての生徒が安心して学校生活を送れるようにすること」です。そのため、一学期には生徒会にお願いして、きまりに対する生徒達の意識や願い、要望等についてまとめていただきました。これらの意見を参考にしながら、二学期以降、多くの時間を使い見直し作業を進めました。この程ようやく新しい「学校生活のきまり」がまとまりましたのでご報告します。(内容につきましては紙面の関係で割愛します。詳細は生徒の学習用端末、HPをご覧ください。)

新しい「学校生活のきまり」は、全体として必要最小限の内容になっています。細かいことをきまりとして守らせるのではなく、生徒自身に学校生活にふさわしい服装や髪型、言動等についてしっかり考えて判断してもらいたいという願いが込められているからです。内容を見たある生徒からのアンケートには、「個人の判断に任せられるところが増えたため問題が起こりそう」とか「清潔感のあるという表現は受け止め方が人それぞれになってしまう」といった、心配の声が上がっています。しかし、その部分を生徒自身がしっかりと考え、判断していく力を身に付けてもらいたいと思っています。主体的に考え行動する力が、これからの時代にはますます重要となってくるからです。幸いなことに、アンケート結果からは、南西中学校のほとんどの生徒が、何のためにきまりがあるのかしっかりと理解していることが覗えましたし、日常生活においてもきまりを守ろうと一生懸命に努力している様子が見られます。そんな生徒達だからこそ、今回の改訂によってさらに居心地のよい学校を創っていけるのではないかと期待しています。

本年度の見直し作業はここでいったん終了し、2月14日付で新しい「学校のきまり」をスタートさせました。前述したように、きまりは常に見直していくことが大切です。新しいきまりを守って生活していったら、また新たな願いや要望が出てくるかもしれませんし、急速に進化する現代社会では、あっという間に時代に取り残されてしまうかもしれません。その時は、またみんなで考え、さらに新しいきまりを考えて行くことが必要となります。そして、全校生徒にとって居心地のよい、安全で楽しい南西中学校がこれから先もずっと続いていくことを願っています。



学校生活のきまり
HPQR コード

「おかだるま」に願いを込めて！

今学期の始業式の日、本館2階の3年生のフロアに、突如巨大な“だるま”が出現しました。その名も「おかだるま」！これは、3学年の先生方が、受験生の合格祈願のため、冬休みを返上して作成した作品です。

“だるま”は、めったに倒れず倒れてもすぐに起き上がることから、「七転び八起(何度失敗してもくじけず、立ち上がって努力すること)で縁起が良いとされ、大願成就、病除け、五穀豊穰などの願いが託されるようになったとされています。いよいよ3月5日には、公立高校の後期募集検査となります。「おかだるま」パワーを感じながら、全力で取り組んで欲しいと思います。頑張れ、受験生！

